

灌水情報～J A丹波ささやま営農情報

猛暑日が続き土壌が乾燥している圃場が多くなっています。黒大豆の開花・着莢期（8月～9月）は、過乾燥状態が続くと花落ちの原因となるため、畝が乾く前に灌水が必要です。また、山の芋の肥大期（8月～9月）は畝が乾く前に灌水を行って、土壌水分を一定に保つことが重要です。

市内に設置している土壌水分計の数値も地域によっては灌水目安となる20%を下回っています。

今後も降雨量が少ない状況が予想されるため、灌水を行って土壌水分の保持に努めましょう。

灌水は温度の高い日中は避け、水が行き渡ったら速やかに排水をしましょう。

また、黒大豆においては茎疫病等が発生する可能性があるため、防除も徹底しましょう。

※ 土壌水分計を設置し、モニタリングを行っています。

【黒大豆】市内の6カ所（八上下、大野、上小野原、福住、大山宮、畑井）

【参考：8月19日12時時点の土壌水分】

八上下 21.6%、大野 16.8%、上小野原 13.6%、福住 22.4%、大山宮 18.7%、畑井 26.4%

【山の芋】市内の6カ所（郡家、知足、当野、藤之木、味間南、乗竹）

【参考：8月19日12時時点の土壌水分】

郡家：18.7%、知足：27.1%、当野：22.7%、藤之木：20.9%、味間南：23.4%、乗竹：22.8